

神流川沿岸農業水利事業

ハイブリッドな国営事業!



再生可能エネルギーの活用で維持管理費を軽減

再生可能エネルギーで何ができるの?

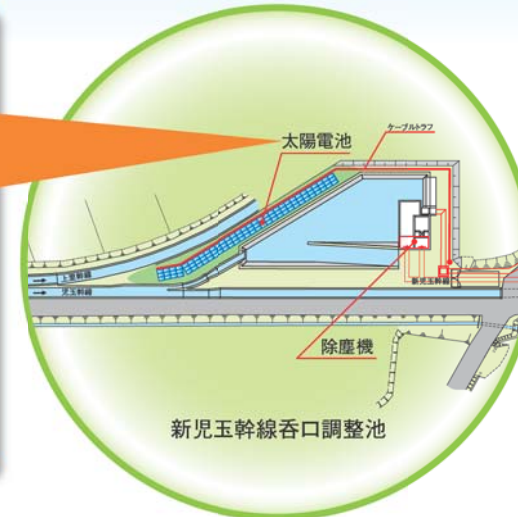
- 水や太陽光のクリーンなエネルギー資源を利用して発電された電気は農業水利施設の電力源として利用されます。
- 又、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用した売電収入の一部を農業水利施設の維持管理費等の軽減に役立てています。
- 災害時(停電時)には、非常用電源として、農業水利施設の**一部機能を確保すること等が可能となります。**



一般家庭約190世帯の年間消費電力。
CO2削減量は、自家用乗用車約190台から排出される1年間のCO2量に相当します。



太陽光発電(93kW)



新児玉幹線呑口調整池



小水力発電(199kW)



発電設備概要

区分	施設名	出力(kW)	仕様	備考
小水力発電	神流川沿岸発電所(落差約30m)	199	横軸フランシス水車	平成24年9月18日から売電開始
太陽光発電	農業用水管理所	20	自立運転機能付	平成24年8月10日から売電開始
	新児玉幹線呑口調整池	20	自立運転機能付	平成25年3月29日から売電開始
	上里幹線呑口調整池	17.7	自立運転機能付	//
	羽根倉幹線付帯機場	35.4	自立運転機能付	//

水は宝ネット群馬 オホ宝ネットさいたま
事業主体：農林水産省 関東農政局
管 理：埼玉北部土地改良区連合